

児童会役員選挙 校長の話

皆さん おはようございます。

今日は、来年度の加計小学校児童会のがんばりを決めるとても大切な日です。

それはなぜかというお話をしたいと思います。

これから行われる「児童会役員選挙」とは一体何でしょうか。特に、1年生の人はなんだろうなと思っているかもしれませんね。

加計小学校では、今、22名の先生方と107人の子どもたちが毎日生活しています。学校は100人近くの方が、安心して楽しく生活するためにいろいろなことを考え、計画しています。時には、困った問題が起こったりしますが、それも話し合って解決してきています。学校全体のことは、私が責任をもって決めています。それも私一人で決めるわけではなく、先生方と相談しながら決めることがほとんどです。また、学校は先生たちが頑張るだけではよくなりませんから、児童の皆さんの意見や考えを聞く必要があります。その役割を果たすのが、「児童会」です。児童会は1年生から6年生まで、すべての子どもたちが参加する会です。皆さんの生活で、大切なことはこの児童会で話し合い、決めていくことができます。ところが毎日、全員が体育館に集まって話し合いをすることはできませんね。だから、皆さんの代表を決めて、その人たちが中心になって、この学校をよくするために話し合い、解決していくリードをしていきます。それが「児童会役員」さんです。今年も役員さんたちが、挨拶運動や「廊下を歩こう」の呼びかけ、楽しい全校レクなどしっかりと働いてくれました。おかげで1年間無事に終わろうとしています。

もうすぐ6年生が卒業します。その後を引き継いで、加計小学校のために動いてくれることに立候補してくれたのが、これから演説してくれる16名の人たちです。こんなにたくさんの方が、立候補してくれたことが、私は何よりうれしいです。立候補してくれた皆さん、今は緊張していると思いますが、自分の考えをしっかりと伝えてください。

さて、画面の向こう側の皆さんは演説をしっかりと聞いてください。その人が、加計小学校のために、みんなのためにどんなことをしようと考えているのかを知ってください。そして、この人に来年の加計小学校を任せたい！と思った人に投票をしてください。「よく知っている人だから」とか「よく遊ぶ人だから」という理由で選ぶのは、よくありません。皆さんの代表ですからね。そこは選ぶ人たちが間違っはいけないところです。

選ばれる側も、選ぶ側も、どちらも真剣にこの時間を過ごしてください。来年度の加計小学校児童会のがんばりを決めるとても大切な選挙です。どうぞよろしく願います。